

『ワークブック 日本語の歴史』 修正箇所一覧

第2刷にて、下記のとおり修正いたしました。

	第1刷	第2刷
10 ページ 傍注	『日本語史探求法』	『日本語史探究法』
43 ページ 表2 「連用形」の「後に続く形」欄	～たり	～けり
48 ページ 下から7行目	sak <sup>[i<sub>甲</sub>+a]</sup> ri	sa <sup>[ki<sub>甲</sub>+a]</sup> ri
51 ページ 例文 (6)	(主節)	(主文)
74 ページ 本文2～3行目 ※この修正に伴い、解答集も修正されています。	およそ【 <sub>1</sub> 院政・鎌倉期】より始まり、 【 <sub>2</sub> 江戸中期】頃に完了したと考えられています。	およそ【 <sub>1</sub> 中世後期】から【 <sub>2</sub> 近世】 であると考えられています。
88 ページ 下から6行目 「外山正一」のルビ	そとやままさかず	とやままさかず
107 ページ 13行目	また、現代語のオ段長音は、	また、現代語のオ列長音は、
117 ページ 11行目	矢の末端にある弦にひっかける部分	矢の末端にある弦をひっかける部分
119 ページ 13行目	もともと「 <sub>8</sub> _____」と いう「 <sub>3</sub> _____」の意味でしたが、	もともと「 <sub>8</sub> _____」と いう「 <sub>2</sub> _____」の意味でしたが、
121 ページ 1行目	「 <sub>17</sub> _____」の最たる例は、	「 <sub>17</sub> _____」敬語の最たる例は、
130 ページ 下から10行目	土井忠夫	土井忠生

以上